

家畜衛生情報

牛の異常産にご注意ください！！

発生予察のための定点観測において、アカバネ病の抗体価の上昇（感染）が6年8月に高知県、同年11月に岡山県で確認されました。岐阜県内では、認められておりませんが、引き続き、異常産ワクチンの接種をお願いします。
なお、昆虫媒介性疾病の予防は媒介昆虫が活動し始める前＝春の予防接種が重要です。

【アカバネ病とは】

- ・アカバネ病ウイルスによる感染症で、異常産を引き起こす
- ・伝播経路：カ、ヌカカにより媒介 ・流行時期：夏～秋
- ・治療法：なし、ワクチンによる予防が可能

【症状】

- ・成牛（妊娠中の感染）
夏～翌年の春に死流産
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
 - ・四肢の湾曲、脊柱の湾曲および斜頸
 - ・内水頭症（大脳欠損症）、頭部の変形
 - ・虚弱、歩行困難～起立不能
- ・子牛（生後感染）
運動失調、起立障害、後肢麻痺、神経症状等

【その他、牛の異常産を引き起こす昆虫媒介性疾病】

- ・チュウザン病
 - ・アイノウイルス感染症
 - ・ピートンウイルス感染症
- 治療法はなく、ワクチンによる予防が可能

●参考：R6年度抗体陽転を確認した都道府県

チュウザン病	島根県(8月)、香川県(8月)、高知県(8月)、愛媛県(9月)、熊本県(9月)、沖縄県(9月)、福岡県(11月)
アイノウイルス感染症	沖縄県(9月)、福岡県(11月)、佐賀県(11月)、長崎県(11月)、熊本県(11月)、大分県(11月)、宮崎県(11月)、鹿児島県(11月)

※ チュウザン病の抗体陽転は、近縁のディアギュラウイルス感染によるものである可能性が高く、このウイルスについても、異常産を起こします。現在、効果的なワクチンは、ありません。

異常産等が確認されたら家畜保健衛生所へ連絡をお願いします!!

岐阜県中央家畜保健衛生所 TEL:058-201-0530 FAX:058-201-0531